

あけぼの作業所

みんな違って、みんないい

施設長 荒川 善夫



職員とご利用者様との信頼関係を核に

福祉に携わる人の陥りがちなこととして、より良いサービスを提供したいと思う余り、肝心の本人の意思がどこにあるのか、じっくり聞いたり、考えたりすることが疎かになりがちな点があります。いま改めて障害者総合支援法に移した時の最大の変更点である、自己決定権から導かれる本人の意思に基づいた

支援を考えてみたいと思う今日この頃です。今日の社会現象の一つに「ステレオタイプ」現象があります。メディアを通じて創り出されたイメージを皆が共有する事です。作業所に通う利用者は一人として同じではありません。「みんな違って、みんないい」と思います。一人ひとりに的を当て、本人の意思に引き合った意思決定支援を実践して参りたいと思っております。

エコール・ド・イタル

室長 石川 孝

介護職員初任者研修事業、始動



開校式で受講者の方々を激励する谷山理事長

京都指定研修事業として申請中だった「介護職員初任者研修」が4月1日付けで認可され、全36回130時間の研修講座がスタートしました。4月21日に研修会場の阿佐谷福祉工房地域活動室で開かれた開講式で谷山哲浩理事長が「一人ひとりが福祉人材として成長してください」と挨拶し、受講者を激励。また、同時に申請していた「知的障害者移動支援従業者養成研修」(ガイドヘルパー研修)も認可を受け、4月18日に開講、26日に全19時間の第1回講座を修了しました。

【いたる賛助会】より事業支援費100万円をご寄付いただきました。平成27年3月27日、いたる賛助会・木村尚文会長より、「グループホーム・新ワルツ(定員13名)施設整備資金およびグループホーム事業部職員等の研修事業費」として、100万円をご寄附いただきました。今後とも、ご支援ご鞭撻のほど、よろしくお願いたします。



グループホーム・新ワルツの完成予想図

イタル成城

イタル成城、開設

施設長 蓬田 正信

4月1日、通所施設の生活介護事業部が開設いたしました。ご利用者様23名でのスタート。毎日送迎バス(3台)に分乗し、通所していただいています。

同日、グループホーム事業部(パンブル)も開設、3月下旬から順次ご入居いただき、5月初旬に10名のご入居が完了しました。短期入所事業部(みつばち)は、4月10日からサービスを開始し、4月は22名のご利用がありました。いよいよ開設した「イタル成城」。ご利用者様にとって、居心地の良い場所になることを願うとともに、その新しい生活を支えていく事業所としての責任に、身の引き締まる思いです。また、ご利用者様・ご入居者様により良いサービスを提

供するうえで、備品等の充実も図らなければと考えております。今後ご利用者様、ご家族の皆様、地域の皆様、関係各位の皆様のご理解とご協力を賜り、信頼される施設となるよう、職員一丸となって努力してまいります。どうぞよろしくお願いたします。



イタル成城のアート活動の作品

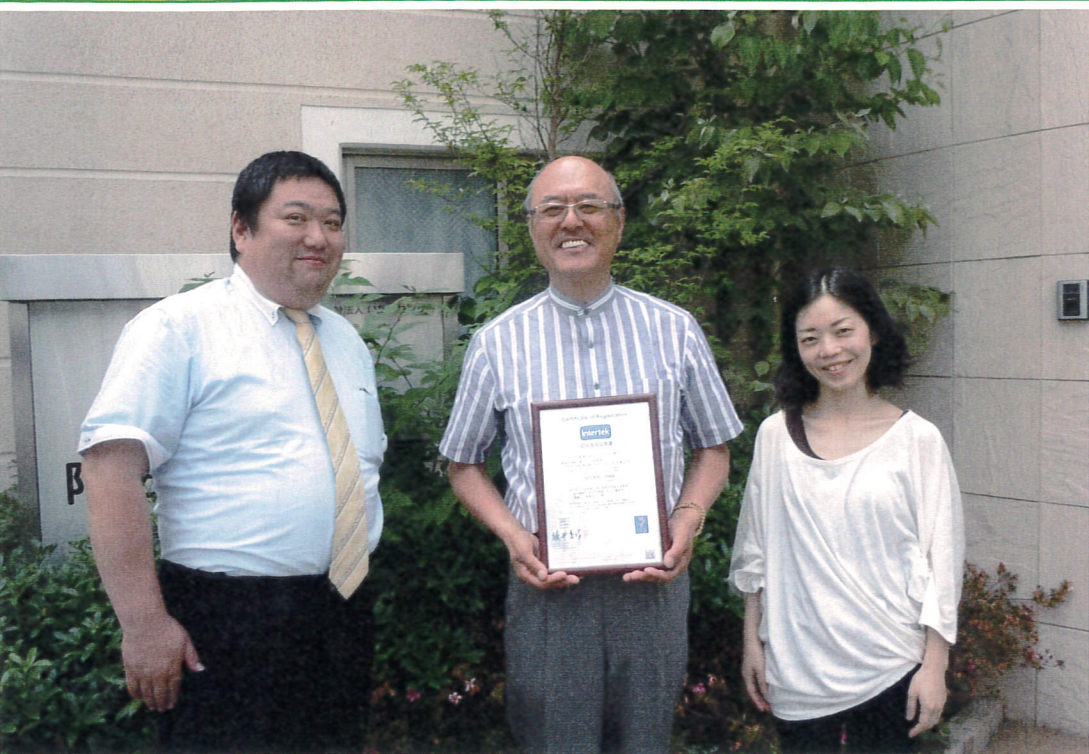
また、同時に申請していた「知的障害者移動支援従業者養成研修」(ガイドヘルパー研修)も認可を受け、4月18日に開講、26日に全19時間の第1回講座を修了しました。

いたる広報委員

発行責任者=谷山 哲浩
社会福祉法人いたるセンター
〒167-0032
東京都杉並区天沼1-15-18
TEL: 03-3392-7346
FAX: 03-3391-8039
Eメール: info@itarucenter.com/
HP: http://www.itarucenter.com/
発行日/平成27年7月1日
ご意見・ご感想がございましたら、上記のFAX、Eメール等でお声をお寄せ下さい。いたる広報委員まで。



ITARU CENTER



阿佐谷福祉工房、クローバー&マルコおよびいたる相談室がISO9001を認証登録

いたる通信 57 真夏号

目次 contents

- 01 いたるセンター
- 02 阿佐谷福祉工房 目黒本町福祉工房 すまいる高井戸
- 03 いたる地域ケアセンター クローバー・マルコ PukuPuku さんまるしえ
- 04 あけぼの作業所 イタル成城 エコール・ド・イタル 法人本部

「いたる賛助会」では「いたるセンター」の活動を支援していただける方を募集しています。一幸せな地域社会を作りたい」がこの会設立の趣旨であります。年会費 105千円(何回でも可) 郵便振り込み 00110712892 339217346 事務局 山本まで

平成26年度事業報告および平成27年度事業計画について

理事長 谷山 哲浩

平成26年度事業報告では、「職場の環境整備」と「職員の意識改革」について重要事項として取り組むことをコミットしました。また、今期においては、全事業所に看護師を配置するようになり、医務マニュアルを完成しました。

さらに、虐待防止委員会も設置し、虐待が起こらないような教育(人間性も含む)と防止策を全体職員研修でも実施しました。

ご利用者様に「安全・安心」の徹底を標榜しているだけに、ヒヤリハット報告や事故報告を決して隠さず、速やかに本部と行政に報告するシステムを構築しました。虐待は万が一にもあつてはならず、未然に防止しなければなりません。

従来からのマニュアルの見直しと検証をし、ISO9000

平成26年度、いたるセンターは社会的な課題の取り組みに着目し、地域福祉の確立を目指す「いたる維新」構想の具現化が始まった元年です。

「障害から福祉へ」と「ゆりかごから墓場まで」を両立するサービスの第一号として、4月に職員による職員のための企業内保育をスタートしました。これで安全・安心して3歳未満のお子さんを預け、仕事ができ、またキャリアを中断することなく働き続けることが可能となりました。

次に、5月に世田谷区内において、北鳥山地域に初めてグループホーム(10床)を設置し運営を開始しました。これは、アパート一棟借りの大きなホームです。

1 認証取得に向けて挑戦し、ただいま審査申請の最中です。平成27年度5月の取得を目指しています。

平成26年度は、障害者総合支援法の施行による運営が開始される年になります。生活介護の職員にとどまらず、全職員が医療的ケアの座学研修を受けました。障害者の重度化と高齢化による医療的ケアの必要性を知ることで意識改革がはじまり、研修を通じて啓発を行いました。

さらに、重心障害者対応の医療的ケアのマニュアルも整備し、イタル成城のご利用者様が安全・安心にサービスが受けられるよう研鑽を積んでいます。

今後、イタル成城の目的と目標の意義を知り、臨床医療の実習を重ね、より良いサービスに繋がっていくことを願っています。

(次ページに続く)

(続き)
平成27年度事業計画

いたるセンターの組織体制を抜本的に見直し、介護支援、就労支援の安定と充実を図ります。

①事業部独立型の組織運営を見直し、イタール成城をモデルとする一体型運営を目指します。②グループリーダー制度の抜本的な見直しを行い、グループ中心の事業体制を構築します。③職階、職位、職務の役割と責任を明示するため、業務分掌を整理します。

④事業所運営はグループ単位で把握し、参画している職員の全員参加態勢と目標認識を目指します。⑤上記の成果を事業部別グループ単位ごとに事業考課として行い、グループリーダー以上は個人の人事考課とリンクをさせる制度を考え、成果に対し積極的に評価していくことを検討します。具体的な事業計画としては、①三井ソーシャルオフィス②ニユーワルツの事業計画

(重度障害者のためのグループホーム、児童デイサービス、訪問看護ステーション)の推進③初任者研修等教育事業の開始④いたるセンター「マイスター制度」としての清掃技能講座開設⑤階層別(新入職員、初級、中級、グループリーダー、統括リーダー、マネジャー)へ研修の実施。特にグループリーダーへの研修の充実を図ります。⑥事業所内保育事業から外部受入の実施⑦学童保育の準備、となります。

4月からは目黒本町分室での活動が始まり、安全・安心にご利用できる環境づくりと商品づくりを目指しています。この活動で開発された人気商品が「アマンド・ショコラ」です。アーモンドにこだわりのショコラとココアで仕上げました。ビタミンEとミネラル、ポリフェノールを含み、

目黒本町福祉工房

施設長 阿久津 庄司

施設長 阿久津 庄司

この活動で開発された人気商品が「アマンド・ショコラ」です。アーモンドにこだわりのショコラとココアで仕上げました。ビタミンEとミネラル、ポリフェノールを含み、



アマンド・ショコラをはじめ、新たな製品も開発中です

すまいる高井戸

センター長 春山 陽子

すまいる高井戸

今年も杉並障害者福祉会館では、7月26日に夏まつり、10月に会館まつりを予定しています。

すまいる高井戸

センター長 春山 陽子

すまいる高井戸

また、これからの暑い時期、来所された方には、冷たい麦茶を提供し、熱中症の予防へ協力していきたいと思っています。



阿佐谷福祉工房 ISO9001、4事業部取得! 施設長 佐藤 章

システムを使い日々改善していくことが大切です。今回は、認証エリアは天沼エリア、認証範囲も「ご利用者様とその家族、福祉サービス」と限定していますが、認証エリアは随時法人全体に、



杉並障害者福祉会館の3階でお待ちしております



それぞれの楽しみを叶える移動支援

いたる地域ケアセンター

【サポートウイズ】

移動支援から ケアプランまで

サポートウイズは居宅で生活されている利用者様が地域とのふれあいやご自分の楽しみを実現する事業所です。映画鑑賞・ボーリング・カラオケや、いたるセンターとは違う作業所に通所されている方も、様々な方とのふれあいも楽しみの一つです。高齢の方はケアプランの作成・デイサービスの紹介・福祉用具等の紹介も行っています。年齢を重ねても「安全・安心」に地域で生活できるようにお手伝いをしていきます。

グループホーム

【グループホーム部】

ホームの旅行報告

5月30日(土)、31日(日)で男性ホームは千葉県旭

原へ旅行に行ってきました。男性利用者10名(支援員5名)はマイクロバスで移動し、女性13名(支援員8名)は大型バスによる移動でしたが、体調不良者も出ず皆様元気いっぱい。バーベキューやジンギスカン料理に舌鼓を打ちました。30日夜、地震が発生しましたが皆様混乱もなく落ち着いて過ごされていました。



塩原溪谷・もみじ谷大吊橋にて

クローバー・マルコ

マネージャー 影山 仁美

第三者評価 受診結果報告

今年度、クローバーが受審した第三者評価についてご報告します。

ご利用者様へのアンケート調査により、総合的評価で「大変満足」「満足」という回答が84%と高い評価をいただきました。中でも「設備の安全性」「整理整頓」「プライバシーの保護」については9割、「利用者への支援」「けがや体調不良時の対応」「利用者同士のトラブル対応」「利用者個人の尊重」については、8割の方に「満足」「大変満足」というお声をいただきました。また組織に対しても「ISO取得への取り組み」として業務手順や支援内容の統一に努め、事業所運営の組織的な基盤を整えている」といった高い評価をいただくことができました。

パン工房 Puk Puku

開店時間を早めました!



新たなお客様との出会いを、スタッフ一同楽しみにしています

パン工房 Puk Puku は本年6月に開店6周年を迎えました。

福祉ショップ さんまるしえ

大量注文、承ります

さんまるしえでは、昨年

増し今年も6月に区内の人材センター様より記念品のお菓子詰め合わせセット500個の注文を受ける事が出来ました。

予算に合わせて通常店舗で販売しているお菓子を工夫し、注文にお応えするべく、店舗スタッフが各施設様と打ち合わせをしております。お菓子以外にも記念イベントの為のお弁当の大量受注



大量注文の際には、パッケージのコーディネートや配送についてもご相談下さい